

各団体等からの取組について

事例報告

～知的障害理解啓発活動…キャラバン隊 活動の意味～

◎ 一人ひとりの「心のバリアフリー」が大切です。

- ・ 私たちの子が日常の生活を豊かにするためには、日頃、気にかけて見守ってくれる人を身近な地域に増やすことが大切と考えています。
- ・ 理解が深まれば無理解や偏見、不審者と勘違いされるなどの問題も減ってくるものと思われれます。
- ・ 知的障がい者の障害を体験することができます。
- ・ 一方的な知識の伝達だけではないので、理解してもらいやすいなどがあげられます。
- ・ 学校における理解啓発に重点を置いて進めていきたいと考えています。
- ・ 外見ではわかりづらい発達に偏りのある人たちの理解は無簡単ではありません。外の世界がどんな風に見え、聞こえ、感じるのか、そのことによってどんな大変さがあるのか、この活動は、そのことを多くの人たちに伝えることができます。
- ・ 親の会だからできる活動であり、差別解消のために大きな役割を担うものと考えています。
- ・ 幼少期から多様性について疑似経験等で理解することにより、将来、お互いの良さを認め合うことの「気づき」や「重い」につながり、興味ある人だけではなく多くの子供たちに伝えることができるため啓発キャラバン隊の活動は有効と考えています。

全国手をつなぐ育成会連合会の取り組み

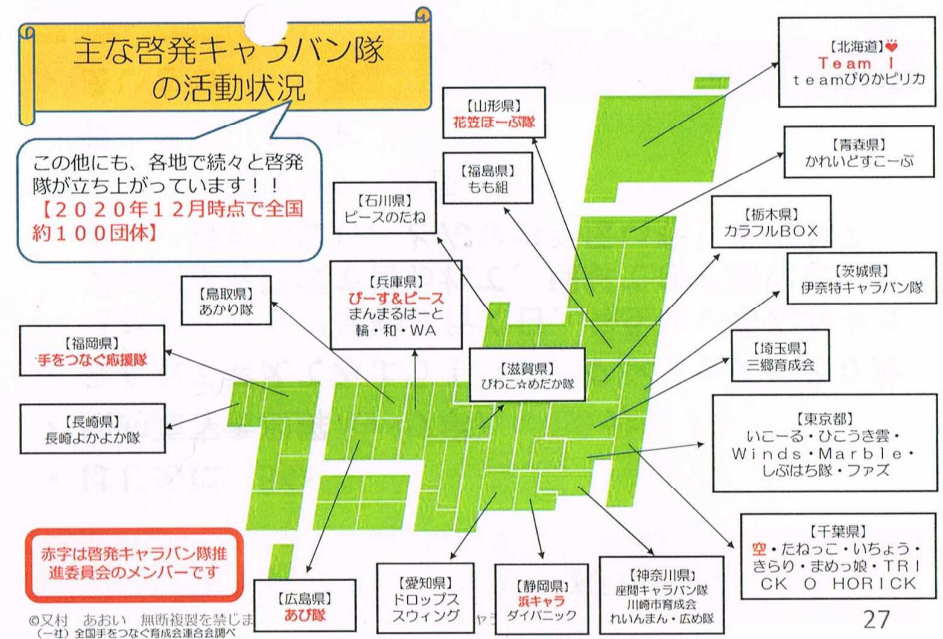
全国で広まりつつある啓発キャラバン隊

1. 外形的に障害の状況（社会的障壁の所在）が分かりにくい知的・発達障害の特性を、地域住民にも分かりやすく、親しみやすく理解できるように疑似体験等を取り入れて啓発活動する団体（啓発隊）が増加中
2. 平成15年（2003年）に神奈川県座間市で発足した「座間キャラバン隊」が始祖とされ、各地の実情を踏まえて地域ごとに展開（全育連でも、毎年「啓発キャラバン隊研修会などを開催）

©又村 あおい 無断複製を禁じます

啓発キャラバン隊研修会 資料

25



©又村 あおい 無断複製を禁じます

(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会調べ

27

全国で広まりつつある啓発キャラバン隊

3. 隊ごとプログラムに違いはあるものの、多くは知的・発達障害の疑似体験を実施
4. 切断して透明テープを貼ったペットボトルで飲み口側に向かって風景を見る（いわゆるシングルフォーカス体験）、軍手をした状態で折り紙を折る（精緻運動の困難性体験）など
5. 分かりにくい知的・発達障害の特性を知ることで、合理的配慮や建設的対話が広がり、共生社会に近づく可能性を高める効果

各啓発隊 活動の様子



千葉県啓発隊 空
公演風景

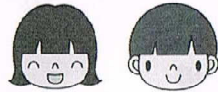


広島県啓発隊 あび隊
公演風景

岩沼中学校での取り組み事例 1

岩沼中学校のみなさんへ

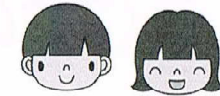
知的障がいのある人の世界を
のぞいてみよう！



一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会

【第2部】

心のバリアフリー
について
学ぼう



バリアって何？

英語で障壁（かべ）

いろいろな人がいることを考えない
社会によって作りだされたもの

例えば…



エレベーターのボタンが
高い位置にあると、車いすを使っ
ている人はボタンが
押せません。

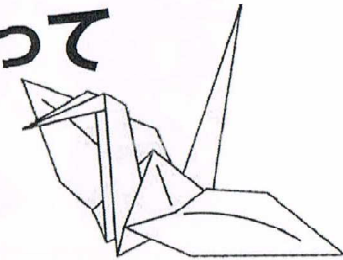
岩沼中学校での取り組み事例2



おりがみ



軍手をはめて、
“つる”を折って
みよう。



●知的に障がいのある人のなかには…

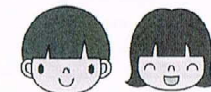
手先が器用じゃない人がいます。

手の操作、指を細かに動かすイメージがつかみにくいことが原因としてあるようです。

人より少し時間はかかっても、みんなと同じものを作り上げることもできるので、やさしく見守り、出来たらほめてあげてくださいね。



シングル フォーカス



仙台市交通局様の取り 組みについて

特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター
代表理事 岩城一美

1.1】車いす利用者のバス利用について

～背景～

車いす利用者がバスを利用する際のニーズや課題（乗車に関して）を整理し、バスのアクセシビリティ、安全性などを再度確認し伝えるため、2022年より、仙台市交通局自動車部業務課指導係、整備課様と対話の場を用意してもらった。

対策と提案

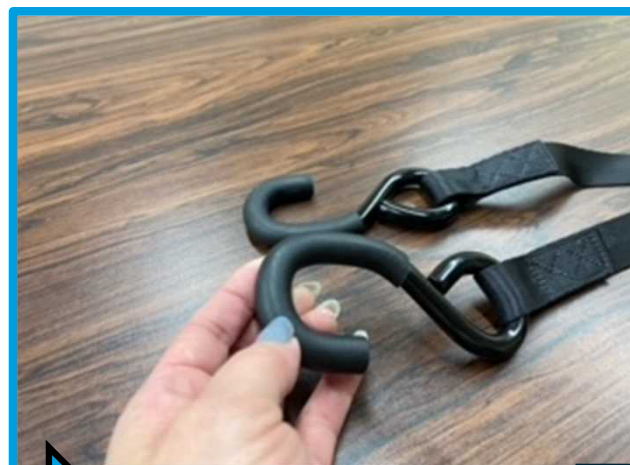
- ・ 車いす利用者のバス利用を改善するため
- ・ 改善の必要性をご理解していただき
- ・ 具体的な施策を
- ・ 2022年より整備課様に取り組んでいただきました。

1) 固定ベルトの改善について

【使用する固定ベルトの問題とは】

- 固定ベルトがもたらす影響は、車いす乗車安全対策のために使用する固定ベルトのフックにより、車いすの車体に傷がつき、そこからさびてしまうという利用者の困りごとです。

【整備課様からの経過報告】



1・ご提案時

2・試案中

3・施工後

令和6年3月7日
仙台市交通局
自動車部整備課

車いす固定ベルトフック部のゴム取付について

令和5年7月20日にご提案しました「車いす固定ベルトフック部のゴム取付」について、今年度（令和6年1月～3月に納車）の新車28両の施工が完了いたしましたのでご報告いたします。

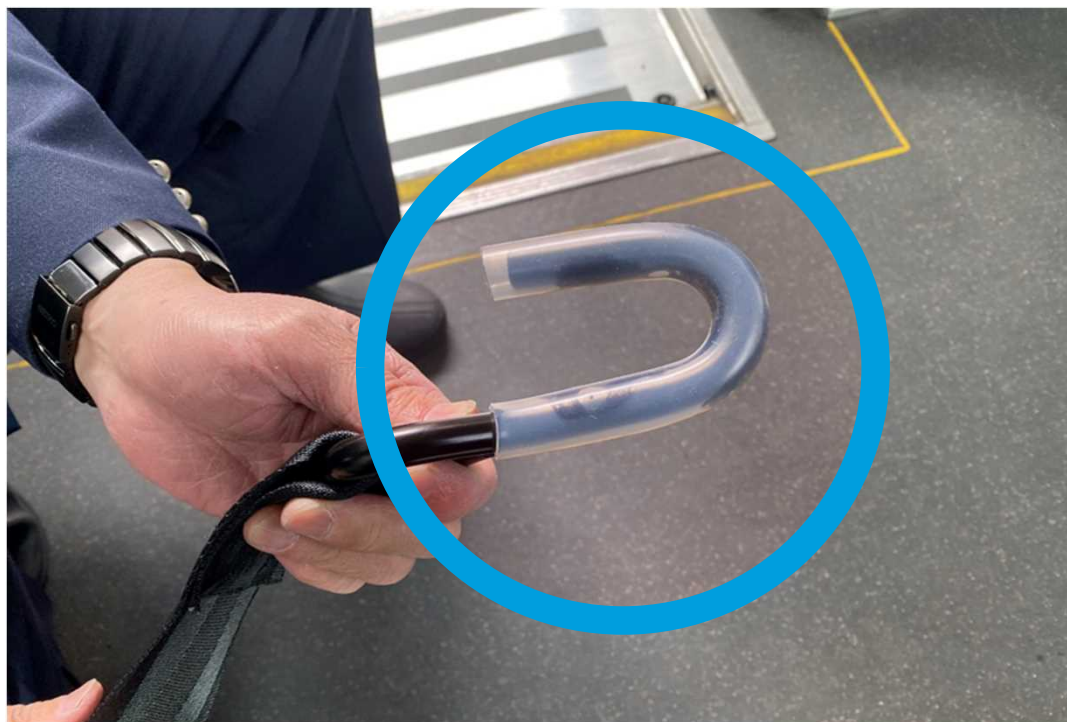
1. ご提案時



2. 施行（新車）



【乗務員様個人の取り組み事例】



～市民の移動と 共生社会に向けて～

バスでの移動は市民の身近な移動手段であり、
移動が円滑になることは外に出ることへの

不安要素を取り除く共生社会への大切な一助となります。

教育については、毎年カリキュラムの固定があることを

聞いておりましたが、柔軟なカリキュラムの在り方も

周知を含め当事者参画により再検討することでさらなる

改善が見込まれると感じております。

{車いすの種類も多様であるということ}



- 車いす 1 つでも仕様が違います
- 下記写真の青○部分で囲みましたこのフックをかけた場所は私の車いすの場合、稼働する箇所であり、車いすの固定にはつながりません。
- 安心安全のためにも、車いすの種別や、フックのかける位置などの教育の周知を再検討していただきたい

「誰もが移動をあきらめない世界」を 日本全国、世界に広める取り組みのご紹介

ANA//-----+

大澤 信陽 (Nobuaki Osawa)

全日本空輸株式会社
経営戦略室 MaaS推進チーム
Universal MaaSプロジェクト
兼 ANAHD 未来創造室 モビリティ事業創造部 MaaS事業チーム



▼Universal MaaSのプロモーション動画Long Ver（日本語）

<https://youtu.be/ryGYsGj5u1I?si=fFXo0vtC5tPNMncJ>